

稚児衣装の着付け方

貸出衣装の内容

白衣・狩衣・袴・金冠（女）・烏帽子（男） 念珠・持ち花

ご家庭でご用意頂く物

| | | | |
|-----|----|-----|----|
| 腰ひも | 2本 | 兵児帯 | 1本 |
|-----|----|-----|----|

あると便利！
腰ひもの代わりに・・・巾広の平ゴム
巾2cm～3cm位
長さ…50cm位～を2本

- ① 基本は肌着の上に着つけていきます。
まず、白衣を着つけます。 前身ごろは必ず左を上に襟元を深く。
- ② 紐で前身をしっかりと押さえながら後ろで紐を結びます。 紐 1本目
左右どちらかの肩甲骨のすぐ下あたり。
- ③ 袴は前後ろは有りませんが、『中原三法堂』をお腹側にして
前身から着つけます。 長さは床から15cm以上あげてください。



- ④ 袴の後身頃を前からの紐の結び目の上に乗せ
後紐を体に添わせるようにしっかりと前に回



今回は解りやすい様に黒色の平ゴムで着付けています。(白色が◎) ゴムは延びるので小さいお子様も無理がなく伸縮性のお陰で着崩れも防ぎやすくなるように思います

●● 中原三法堂

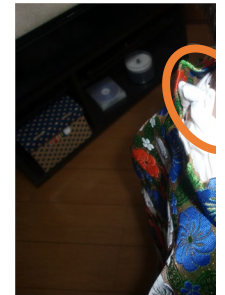
小さなお子様/着崩れ防止に

袴その1 袴前紐を首の上で結ぶ。



袴その2 後ろ袴は長さ調節の為に折り返して前に結ぶ

狩衣その1 狩衣の襟を結び目にか着付ける



⑤ 狩衣は袖を通さず前身ごろだけで着つけます。斜めに重ねる 狩衣も前身ごろを必ず左を上にして着つけます。 紐 2本目
紐で前身をしっかり押さえながら後ろで紐を結びます。後ろ見頃の下で袴も一緒に結びます。

⑤-1



⑤-2



⑥-1

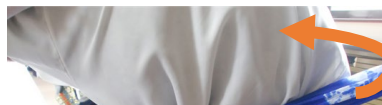


⑥-2



⑥ 兵児帯の中心を胸位置に合わせ帯巾を広げて後ろに回す。

⑦-1



- ⑦ 後ろ見頃の下で交差し、前に回して大きな蝶結びをします。
 ※後ろ身頃は紐でも兵児帯でも抑えません。



元成 剛 元

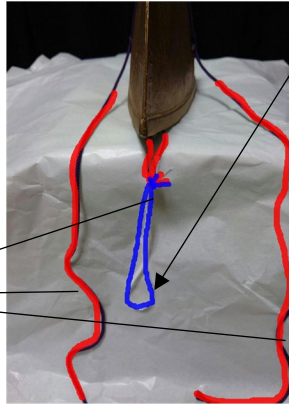
● 中原三法堂

烏帽子（えぼし）のかぶり方



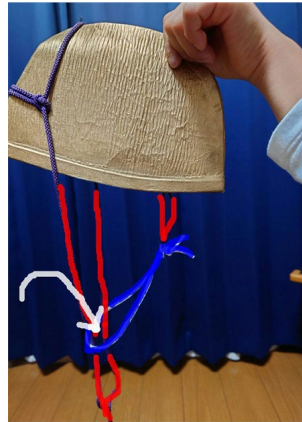
烏帽子の正面

①



ここはゴム

紐部分

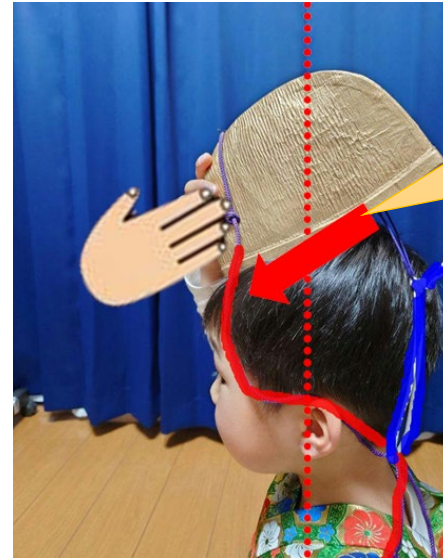


烏帽子の後ろ



②

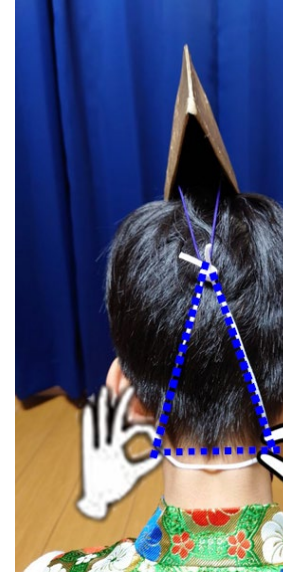
両サイドの紐を後のゴムに通す



軽くのせるだけ

③

軽く誰かに烏帽子を押しえてもらって。
 被る位置は真上ではなくて

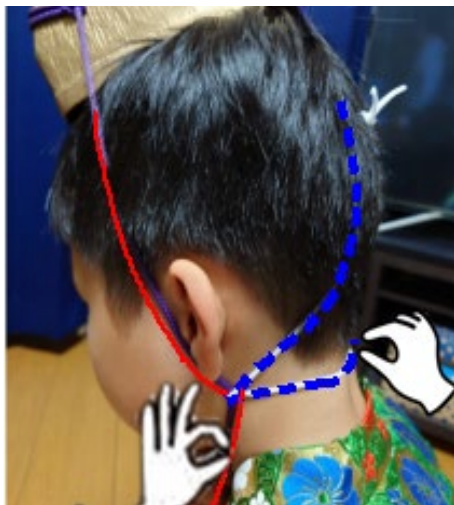


④

後ろゴムを左右に大きな三角形を作り紐

後ろゴムに通す。

少し前被りに・・・。



⑤

しっかりと伸ばしたゴムと紐を一緒に持ち
耳のすぐ下までゴムを伸ばします。<両方一緒に>
紐だけを耳の前に通して・・・ゴムから手を離し紐を
しっかりと持ってアゴしたへ・・・。
顎の下で結んで下さい。

紐の当たり具合で耳が痛いと言われるお子様にはコットンやティッシュ等を紐とゴムが重なる部位に挟んであげてください。

烏帽子は強く扱うと破れます。

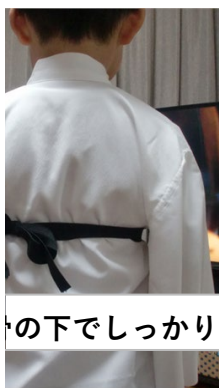


⑥



完成

2-1



の下でしっかりと

る様に

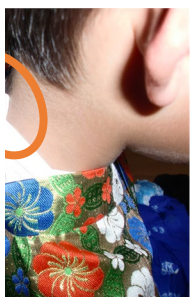
す

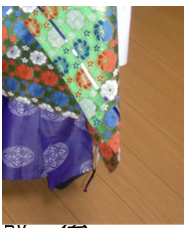


の紐の

2-2

いびせるように





吹 後



大きく伸ばし
丑を耳の前に回す。

